

2学年第1回医学部講演会

2026年5月9日（土）に、第1回となる2学年医学部進路講演会を開催しました。

本講演会には、昨年度に引き続き、富士学院学院長の村田慎一先生をお迎えし、2年生医学コースに所属する生徒27名と保護者5名が参加しました。

まず、村田先生には、近年の詳細なデータに基づき、医学部受験の基礎知識として、一般入試から総合型選抜に至るまで、分かりやすく解説いただきました。特に、「医学部合格は国家試験受験資格を得るための手段であり、医学部受験は就職試験である」とのご指摘から始まり、近年、面接試験を重視する大学が増加していること、合格最低点を超えていても面接で不合格となる場合があるとの具体的なお話は、従来の学力重視という医学部受験の印象を大きく変えるものでした。また、面接試験への対応は、受験期だけの対策で完結するものではなく、日頃からのコミュニケーション能力や寛容性が影響を及ぼすというお話は、まさに2年生であるこの時期に生徒が認識すべき重要事項でした。

基礎学力の定着に加え、自立した学習者となることの重要性、苦手分野の克服や自己分析を含む客観的分析能力、大学に関する情報収集能力、さらには受験者の特性と大学とのマッチング、学力を含む総合力の育成については、今後常に意識して受験に臨む必要があると、参加者一同、心に留めました。

講演の結びに、村田先生ご自身のご経験を踏まえ、「医師として言葉の力が重要であること」、「医師とは他人の止まりかけた人生を未来に繋ぐ職業であること」をお話いただき、参加者の心に深く響きました。

講演終了後も、村田先生を囲んで生徒から多数の質問が寄せられ、談笑を交えながら、多くの励ましのお言葉を頂戴しました。生徒は、「医師になりたい」という決意を新たにしました。本講演会が、生徒の意識改革を促し、今後の学習に繋がることを期待します。

